

①温暖化ガスの排出抑制を巡り、来月にオランダで開かれる気候変動枠組...



慶応義塾大学教授 山口 光恒

COP6交渉

予断を許さず

一九九七年末の京都議定書採択以降、その発効を待たず日本や欧州では着々と...

②再交渉回避に向け、日本は排出削減に全力をあげるべきだ。まず国内対策強化の是非を早急に詰め、不足分は...

がとられていないこともあり、今後よほど思い切った対策をとらない限り、二〇一〇年にかけて温暖化ガス排出量の九〇年比七〇%削減と...

対策を伴わない限り、米園及び欧州は京都議定書上の義務履行が困難であると...

がさめぬよう、世界に対し京都議定書の早期発効を働きかけるべきである。...

炭素税も有効
家計などには
それでも目標達成困難な場合はどうするか。もし原因が運輸部門にあるなら、...

国内排出権の初期割り当て方法は、米国の酸性雨対策の割り当て方法と同様、過去の実績と効率を組み合わせてきた企業がそれなりの量を割り当てられるので、社会的に納得もされ、実現可能性が高まる。...



経済教室

定、欧州連合(EU)では自動車燃費に関する自主協定締結、ドイツ、イタリア、英国、フランスでの環境税...

温暖化ガス抑制の京都議定書

日本、再交渉回避へ全力を

世界の歩み後押し

国際排出権取引を活用

には議定書への信頼性を失墜させ、国際協力の試みを失敗に終わらせる。いかに年の臨界事故もあり実現は困難でも達成可能な目標で...

現行の対策で十分か議論急務

COP6の結果次第だが、場合によっては見直しが必要である。筆者は現時点で、二〇一〇年の温暖化ガス排出量は九〇年比六八%増になる(この場合議定書で定められた八%削減のためには一四一・一六%の削減が必要)と予測している。...

また、先進国が安易に再交渉のテーブルにつくことには、途上国の理解を得られず、将来の途上国参加の可能性を低くする。COP6の成功に全力をあげることは言うまでもないが、日本はまず国内対策をきちんと実施したうえで、削減意欲産業部門に比...

98年度日本のCO2排出量(単位:百万ト)

Table with 4 columns: CO2排出量(1998年度), 1998/1990(%), CO2排出安定化シナリオ2010/1990(%), and 産業界/運輸/民生/その他/合計.

※経団連の自主行動計画は2010年のCO2排出量を1990年水準で安定化させるのが柱(出所:環境庁、通産省)

これ以上の削減は経済や産業の国際競争力に悪影響を与えることを覚悟して実施することになるが、世界最大のCO2排出国、米国の批准が見込めないようでは、日本の国民の理解を得るのは難しい。その場合こそ、米園を加えるための新たな交渉が必要となろう。...

39年生まれ。慶応大卒、専門は環境経済